



東京医学会第 290 回特別学術講演会  
(第 2837 回集会)

臓器病態外科学講座  
消化管外科学

瀬戸 泰之 君

講演日 : 令和 6 年 3 月 29 日 (金)  
時 間 : 16 時 00 分 ~ 18 時 00 分  
場 所 : 東京大学安田講堂

## 講 演

「よりよい手術で治す」ことを目指す

このたび東京大学大学院医学系研究科教授 瀬戸泰之先生は、令和6年3月末日をもちまして退任されることとなりました。

先生は、昭和59年東京大学医学部医学科を卒業し、東京大学医学部第一外科（現、腫瘍外科・血管外科）に入局されました。その後、第一外科医局長、東京大学医学部消化管外科講師、中通総合病院、癌研有明病院を経て、平成20年に消化管外科学教授に就任されました。臨床、教育、研究の多方面において教室の発展に貢献されました。「より良い手術で治す」ことを目指し、様々な術式の改良に取り組まれています。特にロボットを活用した非開胸食道癌根治術 NOVEL(Non One lung Ventilation Esophagectomy with Lymphadenectomy) は、世界初の術式であり、その後続く縦隔鏡手術のパイオニアとして高い評価を得ています。学会活動では、日本外科学会理事、日本消化器外科学会理事長など、わが国の外科を牽引されてこられました。National Clinical Database(NCD)では代表理事、外保連では実務委員長、また厚生労働省医療技術参与も務められています。平成31年には東大病院長に就任され、4年間まさしく新型コロナウイルスとの闘いの陣頭指揮を執られました。

つきましては、最終講義として、その長年にわたるご造詣の一端を拝聴する機会を設けましたので、皆さまのご臨席を賜りますようご案内申し上げます。

令和6年1月

一般財団法人東京医学会